

地盤工学会関東支部
中空ねじりによる液状化強度試験の高精度化に関する研究委員会
2020年度 第1回委員会 議事録

【開催日時，場所，出席者】

日 時	2020年9月24日（木）14:00～16:00					開催方法	Zoom 会議	
委員長	清田 隆	○	幹 事	三上 武子	○	委 員	石川 敬祐	○
委 員	石橋 利倫	○	委 員	岩本 哲也	○	委 員	海野 寿康	×
委 員	大矢 陽介	○	委 員	荻野 一彦	○	委 員	掛川 智仁	○
委 員	金井 勇介	○	委 員	加茂 由紀彦	○	委 員	規矩 大義	○
委 員	久保 裕一	○	委 員	隈元 隆	○	委 員	沢津橋 雅裕	○
委 員	新垣 芳一	○	委 員	仙頭 紀明	○	委 員	瀧原 徹也	○
委 員	谷本 俊輔	○	委 員	豊田 浩史	○	委 員	西尾 竜文	○
委 員	西村 聡	×	委 員	野坂 知正	○	委 員	橋本 精一郎	×
委 員	平松 登史樹	○	委 員	藤井 紀之	○	委 員	安 浩輝	○
委 員	吉田 望	○				オブザーバー	鈴木 賢司	○

○：出席，×：欠席

【配付資料】

- 資料 2020-1-1：2020年度第1回委員会 議事次第
- 資料 2020-1-2：名簿
- 資料 2020-1-3：事務連絡（三上）
- 資料 2020-1-4：委員会設立趣旨説明資料（吉田委員）
- 資料 2020-1-5：話題提供資料（谷本委員）
- 資料 2020-1-6：活動方針（吉田委員，三上）

【議事内容】

1. 委員長挨拶（清田委員長）

2. 名簿の確認（三上，資料 2020-1-2）

修正事項がある場合は，幹事の三上まで連絡する。

3. 自己紹介

4. 事務連絡（配布資料について，三上，資料 2020-1-3）

- ・ファイル保管用の「マイポケット」の案内と配付資料のルールについて確認した。

- ・電子情報でのやり取りを基本とし、作成者は委員会の1営業日前の午前中までに資料を作成してマイポケットに保管する。このとき、pptをpdfにする際は1ページ1枚とする。参加者は各自、マイポケットから資料をダウンロードして委員会に参加する。
- ・当面、上記の方法で運用し、不都合が生じた場合はその都度改善を図る。

5. 話題提供（中空ねじりによる液状化試験法の基準化について、谷本委員、資料 2020-1-5）

- ・谷本委員より、現状の地盤工学会基準の役割や改善が望まれる事項、中空ねじりによる液状化試験法の基準がないことによる問題点、本委員会の論点として考えられる項目について報告がなされた。
- ・事例として示された中空ねじりによる液状化試験データについて質問があった。
 - ①繰り返し载荷に伴ってせん断応力の振幅が小さくなる理由として、载荷能力がない(吉田委員)、ゲイン(感度)の調整(久保委員)、剛性が小さく反力がない中で自動制御しているが故の現象(規矩委員)などの意見があった。
 - ②ストレスパスの頂点が下にずれている理由として、供試体の平行度(久保委員)、センサーのゼロ点調整(仙頭委員)などの意見があった。
- ・なぜ、中空ねじりによる液状化試験法が基準化されていないか(清田委員長)⇒これまでは、普及が十分でない、試験の難しさなどから基準化しようという声があがらなかったためではないか(豊田委員)。

6. 委員会設立趣旨説明（吉田委員、資料 2020-1-4）

- ・吉田委員より、三軸による液状化試験の限界、液状化の評価手法や液状化以後の挙動を論じる際の課題について解析者の立場から報告がなされた。

7. 活動方針についての意見交換（資料 2020-1-6）

- ・三上より、委員会設立時の親委員会（JGS 関東支部研究委員会 G）からのコメントおよび各委員の応募の動機・取り組みたい事項について紹介した。
- ・新しい試験法はなかなか受け入れられないとのことであるが、三軸による液状化試験法と同等レベルの中空ねじりによる液状化試験法の基準化と液状化以後の挙動を求める試験法は別物として考え、前者をステップ1、後者をステップ2として段階を踏んでいけば受け入れられやすいのではないかと(清田委員長)。
- ・品質が十分でない実験データも課題抽出に役に立つので紹介してほしい。
- ・基準化を目指すには、三軸とねじりの比較や軸応力の制御あり／なしの比較なども必要になる。協力者がいるようであれば、これらのパラメトリックな試験を委員会内で実施しても良い。ちょうど科研費の応募時期であるので応募を考えても良いのではないかと。⇒事務局で検討する。
- ・当面の委員会の進め方は、①委員会に打ち解けていただく目的も兼ねて、各委員に取り組みたい事項をパワーポイント1枚程度に整理してもらい、順次、委員会にて3～5分程度で発表していただく(以下、ショート話題提供と記す)、②通常の話題提供の2本立てとする。
- ・委員会開催の頻度は、最初のうち(ショート話題提供があるうち)は2か月に1回程度の開催とし、その後4か月に1回程度の開催とする。

【次回の予定】

日時 : 2020年11月中旬～12月初旬を候補日として日程調整を行う。

開催方法 : Zoom

内容 : 試験実務者シリーズとして開催

話題提供 (久保委員)

ショート話題提供 (試験実務者の方に事務局から依頼する)

⇒名簿を確認し、荻野委員、野坂委員、平松委員に依頼の予定

議事録作成者 : 三上